



伊賀上野橋



高欄部には塚柱が設けられ、芭蕉、俳聖殿、忍者のパネル絵を設置。歩道部は降雪地であるために歩行者の安全を図るとと景観を配慮して地場産材であるタイル材を活用している。また、親柱には地元で産出される荒木石を用いて橋の風格を醸し出している。

伊賀上野橋は服部川に架かる橋で、上野城を南側に見上げ、上野市北部と市街地を結ぶ位置にある。

旧橋は、昭和十年に架橋されたもので老朽化が進み、幅員も狭いため近年の交通量の増加に伴い通行に支障をきたしていた。そのため昭和五十九年度から五年計画で事業を進めたもので、架け替えにあたっては、上野市の歴史や文化、かつての城下町であったことなどの背景を考慮し施行した。

DATA・BOARD 46



- ① 三重県上野市三田～小田
- ② 延長198.5m, 幅員13.3m
- ③ 塚柱, パネル絵
- ④ タイル, 荒木石